

# 八代教頭会だより (令和4年度)

八代市立第三中学校 一司 和穂

## 1 はじめに

本年度の八代教頭会の会員数は、小学校26名(複数配置1校、配置なし1校)、中学校17名、特別支援学校1名の45名である。

## 2 組織(運営委員)

|      |        |       |
|------|--------|-------|
| 会長   | 一司 和穂  | (第三中) |
| 副会長  | 土屋 寛仁  | (松高小) |
| 副部長  | 緒方 彰   | (千丁中) |
| 〃    | 福田 高志  | (有佐小) |
| 事務局  | 坂梨 且典  | (第五中) |
| 〃    | 藤井 堅一  | (植柳小) |
| 会計   | 青濱 伊津子 | (氷川中) |
| 〃    | 早瀬 由理子 | (八童小) |
| 研修部長 | 兒嶋 頭伸  | (第四中) |
| 〃    | 今岡 康則  | (八代小) |

## 3 活動

- 4月22日 第1回研修会
  - ・研究組織づくり
- 4月25日 第1回運営委員会
- 5月10日 第2回研修会
  - ・講話「教頭先生に求めるもの」  
北岡 博 八代市教育長
  - ・研修 学力充実の取組
- 5月25日 第2回運営委員会
- 6月16日 第3回研修会
  - ・講話「学校のリーダーに求められるもの」  
西村 裕 八代校長会会長
  - ・研修 県大会発表事前協議
  - ・県大会参加分科会決め
- 6月21日 第3回運営委員会
- 7月7日 第1回新任教頭研修(中止)
- 7月28日・29日  
全国教頭会研究大会大会岩手大会  
(オンラインのみ参加)
- 8月2日 熊本県教頭会研究大会
- 8月17日・18日  
九州教頭会研究大会鹿児島大会(中止)
- 9月14日 第4回運営委員会
- 10月24日 第4回研修会
  - ・人事管理研修 県学校人事課
- 12月13日 第5回運営委員会
- 12月19日 第2回新任教頭研修
  - ・「若手人材の育成」と「働き方改革」
  - ・「新任教頭としての悩みや相談について」
- 2月14日 第5回研修会
  - ・講話「法律に則った対応のあり方」  
弁護士 富 晃之介 氏
  - ・次年度の研究テーマと各校の取組
- 3月27日 第6回運営委員会

## 4 まとめ

### (1) 研究の成果

近年の八代地区における大きな課題の一つに「不登校児童生徒の増加」があり、八代教頭会では、校内における組織的・計画的な対応や専門家や関係機関との連携・充実に教頭としてどう関わっていくか、各学校の取組を報告・分類・検証しながらその成果と課題、今後の教頭の役割はどうあるべきかについて研究を行ってきた。

成果として次の点があげられる。

ア 教頭が、校内の複数の人や組織、情報の間に入り、連絡調整することで、担任一人に対応するというのではなく、全職員で不登校児童生徒に関わるという体制づくりにつながっていることが実感できた。

イ 教頭が、校内の様々な組織や関係機関につながぐことで、不登校児童生徒に対する組織的・効果的な支援につながっていることを改めて検証できた。

ウ 不登校児童生徒へのさまざまな関わり方を分類し、検証を深めることにより、不登校児童生徒一人一人の要因や背景に対応するために、教頭としてどう対応すべきかささまざまな取組や役割について知ることができた。

これらの成果をもとに、今後も不登校解消をめざして実践を重ねていきたい。

### (2) その他の研修

教育講話では、八代市の北岡博教育長より、①対応力・判断力、②マインドセット、③観察力の3点を中心に、教頭として必要な資質や心構えを説いていただいた。

校長講話では、西村裕校長会会長より、これまでの経験や実践をもとに、管理職の職務と心構え、人材育成から保護者対応に至るまで、様々な面からリーダーに求められるものを具体的に示していただいた。

人事管理研修では、人事課より喫緊の課題について説明していただき、演習では、今後も直面するような具体的事象について実践的な考察の場面を設けていただいた。

実務講話では、富晃之介弁護士が実際に対応された事例や事前に出された質問内容をもとに、演習を取り入れながら具体的に対応方法等を教えていただいた。

## 5 おわりに

本年度は、コロナ禍ではあったが、集散型で5回すべての研修を実施し、多くのことを学ぶことができた。これらを実践し、適切な対応や人材育成に努めていきたい。

次年度以降も更なる組織の充実を図り、八代地区の教育課題の改善につなげたい。